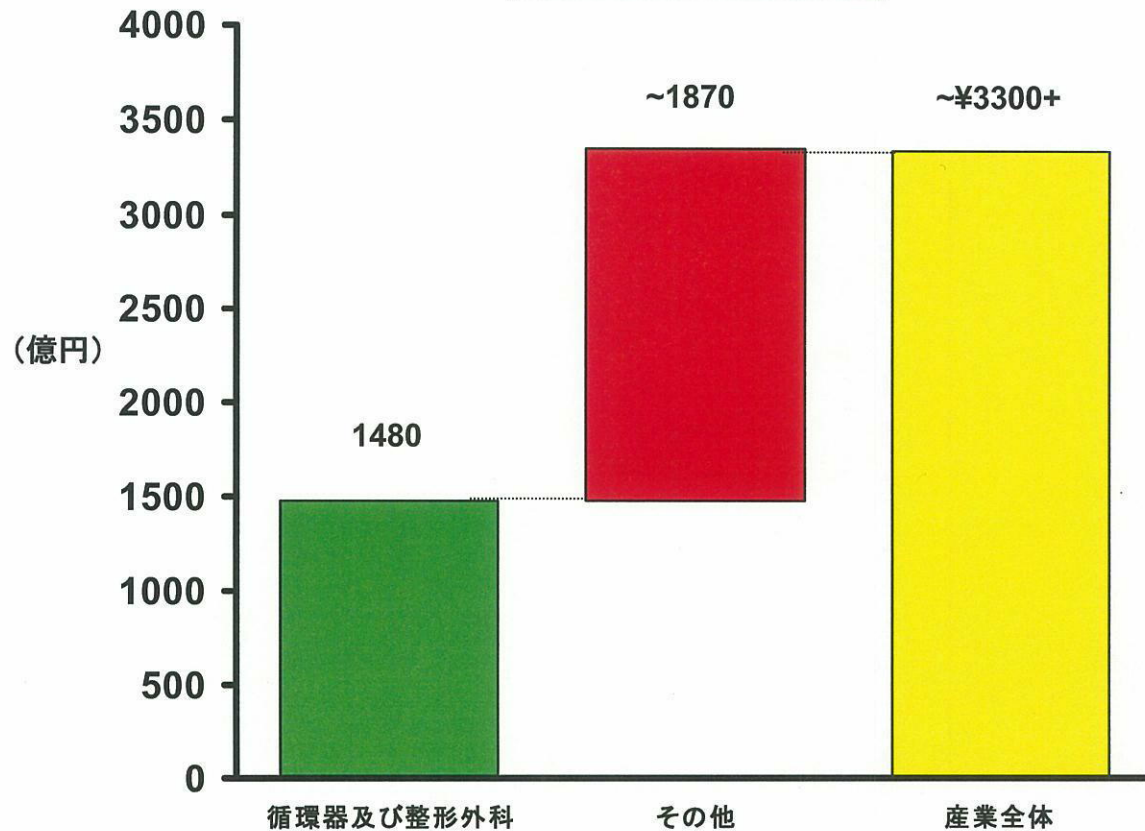


循環器及び整形外科領域において、再算定及び一定幅による価格下落の累積インパクトは約1480億円と推定(前スライドの通り)。この数値より、医療機器産業全体(広義の医療機器)における累積インパクトは3300億円に達すると推定

医療機器産業における
価格下落による累積インパクト
(2002年度 - 2005年度)

コメント



- 循環器及び整形外科領域における、再算定及び一定幅によるインパクトは1480億円と推計
- サンプル製品に基づき、2002年度 - 2005年度までに医療機器産業における価格下落によるインパクトは約3300億円と推計



医療機器産業が価格下落によって受けるインパクトは再算定、一定幅を含めると、全体で3000-3600億円になると推計

外国平均価格制度(再算定:FAP)は適切でない

- 日本の薬事制度特有の要因や法規制等により、年間約5600億円の追加支出が医療機器(医療材料を含む)産業にかかっている
 - 製造、規制、デザイン、マーケティングなど
- 国内外、また1国内においても、製品および販売条件は異なる
- 外国平均価格の調査対象となっている国々では医療制度が異なる